

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場会社名 TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4687 URL <http://www.tdc.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岩田 伸 TEL 03-6730-8111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,771	10.3	245	△13.9	250	△20.3	139	△21.9
25年3月期第2四半期	7,953	△2.9	284	26.6	314	32.2	178	48.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22 82	—
25年3月期第2四半期	29 83	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,657	6,352	65.8
25年3月期	9,537	6,309	66.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,352百万円 25年3月期 6,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	25 00	25 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.5	900	27.1	900	19.9	470	38.7	77 01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	6,278,400株	25年3月期	6,278,400株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	175,369株	25年3月期	175,289株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	6,103,064株	25年3月期2Q	5,982,550株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果が発現するなかで、個人消費や設備投資の持ち直し傾向が続き、景気は緩やかに回復しつつあります。

情報サービス産業におきましても、国内の景気回復の動きを受けて、一部の業種においてIT投資が再開される兆しがあらわれてきておりますが、国内景気の先行きに対する不透明感により、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は変わらず、受注環境は必ずしも楽観できる状況にはありません。

このような環境の中で、当社は、平成25年4月から平成28年3月における中期経営計画『For the NEXT STAGE』のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業の実現」を目指し、お客様の繁栄への寄与に努めております。また、お客様の経営課題と一緒に取り組むパートナー型ビジネス及びサービス提供型のソリューション型ビジネスの提案力強化を重点施策として取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績は、金融分野におけるシステム開発案件が拡大したことなどにより、売上高は8,771百万円（前年同期比10.3%増）となりました。利益面では、売上高の増加により売上総利益が前年同期に比べ増加いたしました。平成25年6月に実施した本社移転に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は245百万円（前年同期比13.9%減）、経常利益は250百万円（前年同期比20.3%減）、四半期純利益は139百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

業種分野別の売上高は次のとおりであります。

金融分野は、クレジット関連向けの大型システム開発案件などが寄与し、前年同期比19.8%増収の5,674百万円となりました。

法人分野は、電気機器等の製造関連向けや通信関連向けのシステム開発案件が減少したことなどにより、前年同期比2.9%減収の2,264百万円となりました。

公共・公益分野は、学校、団体向けのシステム開発案件が減少したことなどにより、前年同期比6.0%減収の833百万円となりました。

## 【業種分野別売上高】

(単位：百万円)

業種分野／期	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金融	4,734	59.5%	5,674	64.7%	+19.8%
法人	2,332	29.3%	2,264	25.8%	△2.9%
公共・公益	887	11.2%	833	9.5%	△6.0%
合計	7,953	100.0%	8,771	100.0%	+10.3%

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ120百万円増加し、9,657百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金などの減少がありましたが、たな卸資産、未収入金などの増加があり、前事業年度末と比べ259百万円増加し7,978百万円となりました。固定資産は、本社移転に伴い有形固定資産の増加がありましたが、差入保証金の減少などがあり、前事業年度末と比べ139百万円減少し、1,679百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加などがありましたが、未払金、未払費用及び未払法人税等の減少などがあり、前事業年度末と比べ78百万円減少し、3,112百万円となりました。固定負債は、資産除去債務、長期未払費用の増加があり、前事業年度末と比べ154百万円増加し、192百万円となりました。

純資産は、自己株式をE S O P信託口から当社持株会へ売却したことから、前事業年度末と比べ43百万円増加し、6,352百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比べ542百万円減少し、2,571百万円(前年同期は3,224百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益250百万円などがありましたが、たな卸資産の増加316百万円、法人税等の支払い271百万円などがあり、営業活動によるキャッシュ・フローは△399百万円(前年同期は277百万円)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

差入保証金の差入による支出191百万円、有形固定資産の取得による支出176百万円などがあり、投資活動によるキャッシュ・フローは△385百万円(前年同期は△25百万円)となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払い152百万円などがありましたが、運転資金の調達などによる短期借入金の純増加354百万円、自己株式の売却による収入45百万円などがあり、財務活動によるキャッシュ・フローは242百万円(前年同期は123百万円)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成25年5月8日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 追加情報

#### (従業員持株会型インセンティブ・プラン(E S O P)に関する会計処理)

当社は、平成24年11月7日開催の取締役会において、従業員の福利厚生の充実及び当社の企業価値向上に係るインセンティブの付与を目的として、「従業員持株型インセンティブ・プラン(E S O P)」制度を設定しております。

本制度では、「TDC社員持株会」(以下「当社持株会」)へ当社株式を譲渡していく目的で設立する「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」(以下「E S O P信託口」)が、信託期間で当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得し、当社持株会へ売却を行います。

E S O P信託口に関する会計処理については、経済的実態を重視し、当社とE S O P信託口は一体であるとする会計処理をしております。このため、E S O P信託口が所有する当社株式は、四半期貸借対照表において株主資本の控除科目の「自己株式」として表示しております。

なお、E S O P信託口が所有する当社株式は、会社法上の自己株式に該当せず、議決権や配当請求権など通常の株式と同様の権利を有しております。

当第2四半期会計期間末現在においてE S O P信託口が所有する当社株式数は28,100株(四半期貸借対照表計上額20,962千円)であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,113,486	2,571,266
売掛金	3,448,230	3,412,879
たな卸資産	487,889	804,510
繰延税金資産	529,336	529,336
未収入金	—	553,668
その他	140,060	107,220
貸倒引当金	△51	△65
流動資産合計	7,718,951	7,978,817
固定資産		
有形固定資産	47,578	237,702
無形固定資産	188,179	198,337
投資その他の資産		
投資有価証券	697,240	719,551
関係会社株式	37,280	37,280
関係会社出資金	77,000	77,000
差入保証金	754,511	392,619
その他	17,202	27,478
貸倒引当金	△62	△10,809
投資その他の資産合計	1,583,172	1,243,119
固定資産合計	1,818,931	1,679,159
資産合計	9,537,883	9,657,976
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	754,626	723,073
短期借入金	467,030	821,138
未払金	151,122	107,232
未払費用	1,299,681	1,169,972
未払法人税等	290,269	129,944
役員賞与引当金	32,700	23,500
受注損失引当金	34,173	—
資産除去債務	27,627	28,960
その他	133,355	108,637
流動負債合計	3,190,586	3,112,460
固定負債		
長期未払金	30,100	30,100
長期未払費用	—	99,117
リース債務	6,797	5,751
繰延税金負債	807	9,145
資産除去債務	—	48,552
固定負債合計	37,705	192,667
負債合計	3,228,291	3,305,127

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	820,450	820,450
利益剰余金	4,680,096	4,666,822
自己株式	△210,806	△168,199
株主資本合計	6,260,140	6,289,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,450	63,375
評価・換算差額等合計	49,450	63,375
純資産合計	6,309,591	6,352,848
負債純資産合計	9,537,883	9,657,976



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,953,247	8,771,535
売上原価	6,678,571	7,364,487
売上総利益	1,274,675	1,407,048
販売費及び一般管理費	990,038	1,161,934
営業利益	284,637	245,113
営業外収益		
受取利息	338	309
受取配当金	9,319	10,278
助成金収入	20,627	6,235
その他	4,173	3,167
営業外収益合計	34,459	19,991
営業外費用		
支払利息	3,530	3,355
貸倒引当金繰入額	—	10,752
その他	810	—
営業外費用合計	4,340	14,107
経常利益	314,755	250,996
税引前四半期純利益	314,755	250,996
法人税等	136,289	111,693
四半期純利益	178,466	139,303

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	314,755	250,996
減価償却費	13,450	50,651
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,700	△9,200
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,557	△34,173
受取利息及び受取配当金	△9,657	△10,587
支払利息	3,530	3,355
売上債権の増減額(△は増加)	324,780	35,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△258,669	△316,620
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,182	△31,552
未払金の増減額(△は減少)	△24,644	△43,889
未払費用の増減額(△は減少)	11,252	△30,592
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,040	△37,113
その他	5,340	45,809
小計	343,772	△127,564
法人税等の支払額	△66,009	△271,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	277,762	△399,463
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△710	△176,039
無形固定資産の取得による支出	△35,341	△27,629
投資有価証券の取得による支出	—	△48
従業員に対する貸付けによる支出	△1,900	△2,950
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,178	2,412
利息及び配当金の受取額	9,657	10,588
差入保証金の差入による支出	—	△191,776
差入保証金の回収による収入	693	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,422	△385,443
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	277,000	354,108
自己株式の取得による支出	△51	△64
自己株式の売却による収入	—	45,666
利息の支払額	△3,598	△3,400
配当金の支払額	△149,565	△152,577
リース債務の返済による支出	△522	△1,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,262	242,686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	375,602	△542,220
現金及び現金同等物の期首残高	2,848,621	3,113,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,224,224	2,571,266

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は、「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社は、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社におけるセグメントは、「システム開発」のみの単一セグメントであります。

なお、当社においては、開発システム等の納期が、得意先の期末（多くは3月）に集中する傾向が顕著であります。このため、売上高等は第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

## ① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	7,364,487	+10.3
合計	7,364,487	+10.3

(注) 1 金額は、製造原価によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	8,708,793	+8.4	5,404,943	+4.0
合計	8,708,793	+8.4	5,404,943	+4.0

(注) 1 金額は、販売価格で記載しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	8,771,535	+10.3
合計	8,771,535	+10.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。